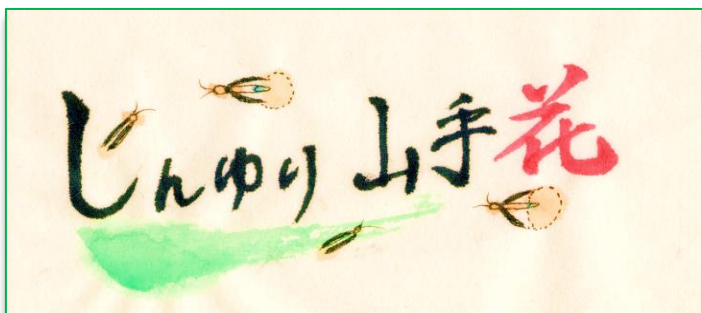




《20》ホトケノザ（シソ科）

道端や畑のふちなどに多い草で、丈は20cm内外、2枚の葉が茎に輪のようについた形から仏の座という名がついています。

しかし、春の七草の方のホトケノザは、別種でこれと混同しないようにサンカイグサ（三階草）とも呼ぶ。

花は長さ2センチならず、キセルのような形で変わっています、きれいなピンク色をしています。

新百合山手地区のまちづくり前は、クヌギやコナラなどの雑木林が約60%、他は畑や田、家屋で構成されており、雑木林をむかしの原形のまま残したところには、春になるとこれらの野草がいたるところに生え茂っています。晴れた昼下がりに公園の中を散歩しながら探してみてください。